

第16回浜岡地域原子力防災協議会作業部会 議事概要

1. 日 時

令和5年3月29日（水） 14:00～14:55

2. 場 所

静岡県庁別館5階 危機管理センター西側及びWeb会議

3. 出席者

- (1) 国 : 内閣府、原子力規制庁、資源エネルギー庁、中部経済産業局
- (2) 関係自治体等: 静岡県庁、静岡県警察本部、御前崎市、牧之原市、掛川市、菊川市、吉田町、袋井市、島田市、磐田市、焼津市、藤枝市、森町、中部電力株式会社
- (3) 庶務: 内閣府 志村推進官、山林原子力防災専門官、原田原子力防災専門官、相馬専門官、是安専門官、豊川主査

4. 議 題

- (1) 避難計画の充実化に向けた対応の整理等の現況について
- (2) 静岡県原子力防災訓練について
- (3) その他

5. 議事資料

- (1) 資料1 避難計画の充実化に向けた対応の整理等の現況について
- (2) 資料2 静岡県原子力防災訓練について
- (3) 資料3 「原子力災害対策充実に向けた考え方」に係る取り組みについて

6. 概 要

- (1) 避難計画の充実化に向けた対応の整理等の現況について

内閣府から、資料1に基づき原子力災害時に対応すべき主な事項の整理・検討の現状等を説明した。

静岡県庁から、これらの事項を整理すれば「緊急時対応」の取りまとめに繋がることとなるのかと質問があった。これに対して内閣府からは、本資料は「緊急時対応」の取りまとめに必要な項目、すなわち原子力災害対策指針等に基づき具体的かつ合理的であると確認されるために必要な作業を整理したものであり、内閣府としても関係自治体と共に進めていく考えで

あることを回答した。

静岡県西部地域局から、住民への情報伝達方法として検討している避難情報発信・集約システムの状況等について質問があり、これに対して静岡県からは、住民自らが地域情報を確認できること、住民情報を集約するため、住民情報の手書きによるデータ入力をスマートフォン等によりデータ入力ができるシステムを検討していることを回答した。

(2) 静岡県原子力防災訓練について

静岡県から、資料2に基づき令和4年度の実施結果について説明した。

また、今後の訓練時期等について、より多くの住民が参加できるよう、秋季や土日祝日開催に向け、関係市町と調整していくことを提案した。

(3) その他

中部電力から「原子力災害対策充実に向けた考え方」に係る取り組みについて説明した。

以 上